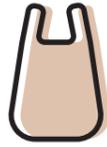


### 必要なものを必要な分だけ購入する

食料品は、食べ切ることができる量を購入することで、食品ロス削減にもなります。



### 使い捨てではなく、長く使用できるものを購入する

長く使えるものを選ぶことで経済的かつ、ごみになるものを減らすことができます。



### 過剰な包装は避け、再利用できる容器を選ぶ

包装が少ないものや再利用できる容器を選ぶことで、ごみの発生を減らすことができます。



### グリーン志向消費の取組み例

#### 認証ラベル・マークがある商品を選ぶ

グリーンマーク（古紙を原料とした商品）など、環境や社会に配慮した商品につけられていて、さまざまな種類があります。

#### 近くで生産・製造されたものを選ぶ

近くで生産・製造されたものを選ぶことで、輸送にかかるエネルギーなどを削減できます。



#### リサイクルのシステムがあるものを選ぶ

リサイクル製品の購入や、不用品の回収・リサイクルを行う企業の商品を選ぶことで、資源の有効活用につながります。



▲消費者月間ポスター

## 特集

# 明日の地球を救うため、消費者にできること

## グリーン志向消費～どのグリーンにする？～



5月は消費者月間です。今年のテーマは「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」です。異常気象による災害の発生や海洋汚染、森林破壊など環境問題は年々深刻化しています。私たちが住む地球を守り、持続可能な社会を引き継いでいくため、SDGsに着目し、地球環境に配慮したグリーン志向の消費行動を始めませんか。

【消費生活センター】

### 「自分の事」として考える

## 環境問題

私たちの消費行動が環境問題の原因のひとつとなっており、地球環境に配慮した消費行動を選択することが求められています。

「誰かが何とかしてくれる」ではない

私たち消費者が、日常生活において使用する商品・サービスは環境問題と密接に繋がっており、私たちの消費行動の変化は環境に大きな影響をもたらします。私たちの消費行動による大量生産・大量消費、そして大量廃棄は、たくさんのごみを発生させます。そのごみを埋め立てまたは焼却処分することにより、地球温暖化や大気汚染、海洋汚染などさまざまな環境問題に繋がっています。

「誰かが何とかしてくれる」ではなく、「自分の事」として自分の行動が環境問題の改善に影響を与えると考えることが重要です。

## 橋本市の取組み

### SDGsはしもと環境フェア

橋本市では、SDGsの推進を目的として、今年もイベントの開催を予定しています。環境や消費に関する発表や展示のほか、多様な団体と一緒に橋本市のSDGsを考える複合的なイベントです。

詳細が決まり次第、皆さんにお知らせします。

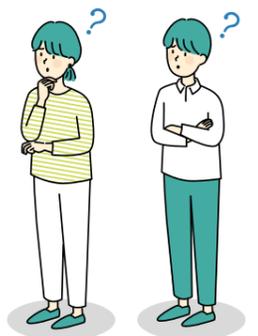


◀◀SDGsはしもと環境フェア 2024の様子



グリーン志向の消費行動

「グリーン志向の消費行動」とは、環境に配慮された商品・サービスを理解し、意識して選択するなどの行動をいいます。グリーンコンシューマー（Green consumer）、直訳すると「緑の消費者」とも呼ばれます。買い物の際に、環境に配慮された商品やサービス、環境問題に取り組む企業の製品を選ぶことで、環境問題の解決に貢献できます。



### 消費者トラブルは、消費生活センターへ

- 消費者ホットライン ☎188
- 消費生活センター ☎33-1227（相談のみ）午前8時30分～午後5時15分（土・日曜、祝日、年末年始を除く）

### 市民と行政で共に取り組む3R

市では不要となったものを、「Reduce」リデュース（減量）、「Reuse」リユース（再利用）、「Recycle」リサイクル（再生）することにより、限られた資源と地球環境を次世代に残していく、さまざまな環境への取組みを行っています。

みなさんは普段、環境に配慮した消費行動をとっていますか。どんな消費行動が地球環境にとって良い行動なのか考えたり、話し合ったりする機会を作ってみませんか。私たち、1人ひとりの消費行動の選択が、環境問題の改善や持続可能な社会の実現に繋がります。私たち自身ができることから始めてみましょう。

消費者庁HP

